



ルーキー4選手が市内観光
キャンプが始まって初の休日となった2月4日は、ルーキー4選手の市内観光が行われました。キャンプ地をより知ってもらうために毎年行われているもので、今年は、県出身の比屋根選手らが参加しました。選手たちは、浦添の特産である車海老養殖場やサング養殖場の見学のほか、ブルーシールでの店員体験、ファミリーマートでの一日店長を務め、地元の皆さんとの触れ合いを楽しみました。



東京ヤクルトスワローズ

春季キャンプin浦添2012



講演会
2月10日は、浦西中学校で、松岡健一選手（投手）と、田中浩康選手（内野手）による講演会が行われました。「DREAMS COME TRUE」の夢はきつとかなう」をテーマに行われたこの講演会では、生徒たち



からの質問に選手は丁寧に答えていました。どうすれば夢は叶うのですか？という質問に対して、田中選手は、「自分の夢を諦めないこと。ドリカムの『何度でも』という曲が好きで、よく聴きながら頑張っています。『継続は力なり』で、成功するまで頑張ることが大事です」と回答し、松岡選手は「田中さんと同じく諦めないこと。高校野球時代、甲子園予選の試合で自分の失敗で負けてしまった悔しさをバネに、大学時代以降、野球を頑張ってプロになったと思っています」と自分の経験も交えて回答し、これから夢に向かって頑張る生徒たちへエールを送りました。



ヤクルト沖縄入り
1月30日、同球団は那覇空港にて市長やてだこレディに迎えられ、沖縄入りし、翌日の1月31日に、那覇市の波の上神宮を訪れ、キャンプの安全および優勝を祈願しました。
2月1日、28日、浦添市民球場にて、東京ヤクルトスワローズの春季キャンプが行われました。同球団の春季キャンプが浦添で行われるのは、今年で13回目となります。憧れのプロ野球選手を一目見ようと球場には県内外から多くの野球ファンが訪れ、また連日多くの報道陣も詰め掛けました。

少年野球教室

2月12日には、選手による野球教室が開催されました。市内の少年野球16チーム、300人弱が参加し、ピッチングやバッティング、守備練習など各選手がコーチとなって指導を行いました。宮本選手は、自ら児童へ声を掛けて周り、児童の緊張を和らげていました。児童は、憧れの選手から身近に指導を受け、貴重な体験となりました。



内間ベアーズ
首里奈波さん(左)
富盛琴乃さん(右)



「プロ野球選手から習うのは緊張したけど、楽しかったです。ノックの時に、荒木選手が声の出し方を教えてくださいました。」

沢岬ロケット
仲井間宗弥さん



「プロの選手たちから習えて、とてもためになりました。バッティングで、ボールをよく見て打つことを教えてもらいました。」

前田ホークス
與座巧人さん



「自分の出来てない所を増減選手に教えてもらったのが良かったです。中学生、高校生になってもやっていけるように頑張ります。」



市民らが選手を歓迎
2月1日のキャンプイン前には、市役所前にて歓迎式が行われ、選手たちは多くの市民らの歓迎を受けました。小川監督は歓迎式で、「昨年、成し得なかった『優勝』、今年こそはその目標の達成に向けて、今日からのキャンプは、一人一人のレベルアップを図り、しっかりと取り組みます」と挨拶し、歓迎式後、球場へ向かい春季キャンプをスタートさせました。



キャンプ日程
練習は、通常午前10時に始まり午後3時までですが、日によって異なります。また、キャンプ中は、4～5日間の練習の後、1日の休みといったスケジュールで、選手は休日にも浦添に関連するイベントへ参加していました。
また、2月中旬以降からは、ほぼ毎日練習試合が組まれ、県内でキャンプをする日本や韓国のプロ野球チームと対戦しました。
浦添・沖縄の特産品を
2月3日に行われた陣中見舞いでは、浦添でキャンプをする選手たちへ沖縄の特産品であるアグーやオリオンビールなど、多くの県産品が贈られました。